天台佛青連

発 行 人／寺門俊明
編　　集／天台仏教青年連盟　布教広報委員会
発 行 所／〒214-0023　神奈川県川崎市多摩区長尾 3-9-3 妙楽寺内
印 刷 所／〒960-2101　福島県福島市さくら三丁目 2-7　福島カラー印刷株式会社
郵便振替／天台仏教青年連盟　02250-5-6765

題字／第256世天台座主大僧正
半田 孝淳 猊下　御染筆

平成23年
2月発行号

精進

天台仏教青年連盟代表
寺門 俊明

天台仏教青年連盟の会報発行にあたりご挨拶申し上げます。

日頃より延暦寺一山をはじめ全国の天台宗寺院ご住職様、各教区仏青会員の皆様には私ども天台仏教青年連盟の活動に対しまして格別のご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

また、半田孝淳座主猊下におかれましては、ご多忙のところ、私どものあつかましいお願いにも拘わらず、この会報のために御染筆を頂戴いたしました事、深く感謝申し上げますとともに、揮毫いただきました「天台佛青連」の書は、今後本会報の題字に使用させていただきますことを皆様にご報告いたします。

本年度も全国の会員各位のご協力のもと、精力的に各事業を展開することが出来ました。特に奈良での「平城遷都一三〇〇年祭 平和への讃歌、ピースメッセージ」への参加、米国ニューヨーク別院本堂落慶五周年記念法要、得度式、ボストン美術館でのフェノロサ、ビゲロー得度一二五年記念護摩供法要への出仕など、大変貴重な経験をさせていただきました。

そして十一月十五日・十六日には、総本山比叡山延暦寺を会場に『天台仏教青年連盟創立四十周年記念中央結集』を開催いたしました。大会テーマとして「青年僧として仏教教化を考える」を掲げ、記念講演には宗内外の講師による二回の講演会を行いました。お二人のご講演は、現代社会における、宗教離れや寺院離れが問題視されている中で、我々のとるべき行動について考える絶好の機会となりました。また記念事業では、参加者全員で汗を流して戒壇院、大講堂の修景作業を行い、記念法要では大講堂で阿宗務総長様、武延暦寺執行様をはじめ宗務庁、延暦寺両内局の皆様、初代杉谷代表をはじめ歴代の代表の皆様のご随喜のもと、約二百名の総出仕で世界平和を祈願いたしました。

天台仏教青年連盟が発足されてから四十年。今日まで、仏教青年連盟を築き上げて来られた歴代代表をはじめ役員の皆様、そして全国の仏青会員各位に深く感謝いたすとともにあらためて心より敬意を表したいと思います。

科学の時代といわれている現代は、物質文明が洪水のように押し寄せ、生活環境が豊かになった反面、心が貧しくなったように思われます。我々青年僧は、もう一度原点に立ち返り、宗祖伝教大師の御心を学び、実践していく事が与えられた使命だと自覚し、今後より一層行動することが重要だと思います。

今後とも当連盟の更なる発展のため精進してまいりますので、変わらぬご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

index

代表挨拶 ・・・・・・・・・・・・・・・・1
天台宗宗務総長「自らの足で歩む」 ・・・2
延暦寺執行「ごあいさつ」 ・・・・・・・2
平成22年度天台仏教青年中央研修会 ・・3
ニューヨーク別院本堂
落慶5周年記念参拝 ・・・・・・・・・・3
教区仏青活動レポート
三岐仏青・・・・・・・・・・・・・・・4
兵庫仏青・・・・・・・・・・・・・・・4
信越仏青・・・・・・・・・・・・・・・5
北海道仏青・・・・・・・・・・・・・・5
特　集
天台仏教青年連盟創立40周年記念
中央結集・・・・・・・・・・・・・ 6〜9

平城遷都1300年祭 平和への讃歌
ピースメッセージ ・・・・・・・・・・ 10
第33回東日本仏青親睦野球東京大会
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
第45回天台青少年登山 比叡山の集い・・ 11
インフォメーション ・・・・・・・・・ 12
協賛金協力者ご芳名・・・・・・・ 13〜15
平成22年度常任委員会委員長報告 ・・ 16

自らの足で歩む

天台宗宗務総長　阿　純孝

青年は、何かにつけ期待の星にされがちですから、ご本人にして見たら、うれしくもありうっとうしくも思われることでしょう。ではありますが、世間が若者に対してそれだけ期待しているのだと見れば、励みにもなります。

青年時代は、過ぎ去った時間に比べて、未来に向けての時間が豊富にあります。しかも手付かずの自由な時間なのですから、期待したくもなるではありませんか。その期待は要求ではなく応援だと思ってください。

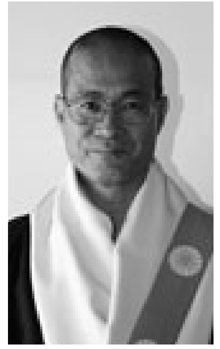
私たち僧侶は、得度を受けたら、仏道に勤しむ同士です。老いも若きも先輩も後輩も共に仏道を歩む点においては同じです。でありますから、お互いに意志の疎通をはかり、考え方を語り合い学び合うことが大切なのです。そして、助け合っていけば、一人の力が倍にも三倍にもなることだろうと思います。

今、仏教は社会参加型仏教に変わりつつあります。社会に対して働きかけることをしなければ、寺院の存在は難しくなることでしょう。

現代の日本社会は大きく動いています。過疎化・少子化・老人介護・自死の問題などは顕著な例ですが、まだまだ潜在的な課題は多々あると思います。その中で寺院・僧侶がやらねばならないことは必ずやあるはずです。その時、気をつけなければならないことは、自らの働きが仏の教えに則しているかどうかです。これは、僧侶全体の行動について言えることですから、人に言う前に脚下照顧です。

ごあいさつ

延暦寺執行　武　覚超



天台仏教青年連盟の皆様におかれましては、昭和四十五年発足以来、四十周年の記念すべき歳を迎えられ、昨年の十一月に「中央結集」の記念式典並びに法要を盛大裡に厳修されましたこと、まずもってお慶び申し上げます。

また記念事業として十一月十五日には、比叡山大講堂並びに戒檀院の修景（敷石）工事と記念植樹を参加者全員にて汗を流し取り組んで頂きましたこと誠にありがたいことでありました。心より厚く御礼申し上げます。

天台仏青の皆様には、今後とも来山や各教区等における教学、布教（広報）、法儀音律、詠讃道などの研修修学に積極的に参加いただき、常に天台の教師としての資質向上に努めて頂きたい。そして会員のそれぞれが大きな目標を持ち、お互いに切磋琢磨し交流を深めながら、一歩一歩地道に努力を積み重ねていくことが大切なことだと思います。

また一方、災害支援やユニセフ（国連児童基金）援助等のための救援托鉢や現地での諸活動などの一隅運動への積極的な参加、さらには諸宗派諸教団とも連携しつつ、幅広いグローバルな宗教協力や対話の活動にも関心を持ち、鋭意取り組んで頂くことを願っております。

今後ますますの天台仏青連盟のご発展と、会員の皆様のご精進ご活躍を祈念申し上げ、ご挨拶といたします。

墓地管理をサポート!!
有限会社　ケイエープランニング
―墓地図面・改葬手続き・パンフレット―
〒379-2301
群馬県太田市藪塚町1525-6-103
TEL／0277-78-0118
FAX／0277-78-0124

扇子
遠藤新兵衛商店
〒600-8334
京都市下京区油小路通六条南入
電　話（075）351－1367
FAX（075）351－1476

香
松栄堂
www.shoyeido.co.jp

平成二十二年度天台仏教青年中央研修会

「寺院がおかれている現代的問題への取り組み」

東海仏青　鷹羽　圓裕

天台仏教青年中央研修会が十月十四日～十五日の二日間で延暦寺会館において開催されました。今年度の研修会は先ず、淑徳大学准教授・浄土宗龍泉寺住職の武田道生師により、「寺院がおかれている現代的問題への取り組み」と題して基調講演が開かれました。様々な資料をもとに地域社会における寺院の実態、人々の意識変化等について講義を受け、寺院側の意識変革の必要性を説かれました。

続いて討論会が武田師と村上圓竜社会部長により開かれました。参加者の質問を交え、都市開教について、これからの葬儀の在り方について等幅広く議論が交わされました。

その後、分散会が開かれ講演内容をもとに各グループにおいて活発に議論され、最後に全体会で発表し閉講しました。

目まぐるしく変化する社会に対応すべく、今回の研修会は大変意義深い内容になり、今後の活動に役立てていきたいと思います。

アメリカニューヨーク別院本堂落慶五周年記念参拝

ニューヨーク別院記念法要に参加して

群馬仏青　小川　晃泰

平成二十二年十月二十三日、アメリカニューヨーク州のニューヨーク別院慈雲山天台寺において、本堂落慶五周年を記念しての慶讃法要と、別院において初の得度式が執り行われました。

午前中に、五年前の落慶の時に、お奉りする本尊薬師如来の分身を寄贈した東叡山輪王寺門跡寛永寺住職神田秀順大僧正大導師のもと、副導師にニューヨーク別院住職聞真・ポール・ネイモン師、天台仏教青年連盟の出仕により、現地時間の午前十時三十分より行われました。まずは日本側による唄散華の法要を行った後、アメリカ側による、英語に訳されたお経での法要が行われました。

法要後の式典では、来賓からのお言葉ごとに双方に通訳されるなど、わかりやすく行われ、時に混ざるウィットの効いた言葉に、笑いもこぼれていました。

また、今回の記念として、老朽化の進む庫裏や、なかなか手を入れられない庭等の整備・改修が行われ、床暖房やサッシの二重化など冬の厳しい中ではマイナス10度を下回る環境の改善がされ、住職夫妻からの感謝の言葉をいただきました。

午後二時三十分から、得度式が行われました。戒和上として比叡山延暦寺一山勝華寺住職小森秀恵大僧正のもと、ニューヨーク別院初の得度式が厳粛に行われました。戒弟は五年以上ネイモン師に師事し、修行をされてきた方で、男女併せて六名。慣れない作法に戸惑いながらも、教授師に教わりながら無事に終了、法名をそれぞれ頂き、仏弟子としての第一歩を踏み出しました。

翌日は、ボストン美術館のエントランス前において、護摩供法要を行いました。

見慣れない仏教のセレモニーを観ようと多くの方が護摩壇を囲む中、小森秀恵大僧正大導師のもと、法要が始められました。炎もあがり、太鼓の音も響き始めるとさらに多くの人が集まってきました。途中から雨に降られ、一時ざわつきましたが、美術館スタッフが傘を差し掛けていただき、無事に最後まで修することが出来ました。

教区仏青活動レポート

三岐仏青

三岐仏青の現況と活動

神藤　誠真

私たち三岐仏青は、天台仏青連盟に復帰せていただき、今年度で三年目を迎えております。

加盟より今日に至るまで、天台仏教連盟代表をはじめ連盟役員の方々、各教区仏青会長ならびに仏青会員の皆様には御厚情を賜りまして御礼申し上げます。

◆三岐仏青の現況

三岐仏青は、現在の会員数二十四人となっておりますが、その多くは他の職業と兼業あるいは他の職業専業で、実働人数数名という厳しい現況は加盟当時より変わっていません。

三岐仏青独自の行事・行動を模索しておりますが、復帰より日も浅く基盤もない為、また、十分な資金、実働人数もそろわないのが現状で、三岐仏青独自の実働事業は無いまま今日に至っています。

しかし、青年僧として経験と実績を積み、今後に活かせられるよう教区行事等の参加、尚連盟行事への参加は、出来うる限り出仕させていただくように会員各位考えております。

今年度の三岐教区法儀研修会ならびに托鉢に、仏青会員も参加させていただきましたので御報告致します。

◆三岐教区法儀研修会

平成二十二年十月一日に、岐阜県大垣市圓興寺にて、延暦寺一山禅定院住職水尾寂芳師を講師に迎え、法華・常行三昧音用所作の講義をして頂き、三岐教区宗務所 森喜良所長より無常記の解説をいただきました。

日頃の法務で一見承知しているようでありながら、疎かになりがちな様々なことを再認識させて頂き、また気軽に質問にお答え頂きまして、御多忙にも関わらず御尽力頂きまして水尾寂芳師には誠に感謝いたしております。

森喜良所長より無常記をわかりやすく解説いただきまして心より御礼申し上げます。

◆一隅を照らす運動全国一斉托鉢

平成二十二年十月二日、岐阜県神戸町神護寺より神戸町市街地に、三岐教区所長はじめ教区各御寺院様と共に、仏青会員も托鉢に参加させていただきました。

十月とは思えない暑く汗ばむ陽気の中、街頭や各戸を訪問して募金活動を致しましたが、街中の方々は皆快く御協力頂きまして、笑顔で迎えてくださる方、感謝の言葉を述べてくださる方と、会員一同心身共に充実感と実りある経験をさせていただきました。

このように、仏青独自ではまだ動けていない現況ではありますが、教区並びに連盟行事に出来うる限り参加させていただき経験を重ね糧とし、これからの三岐仏青に活かせるよう精進してまいります。つきましては、今後ともご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

兵庫仏青

唄伝法会の開催

熊谷　圭諦

去る平成二十二年十月十三日に第一部能福寺（雲井世雄住職）を会場に唄伝法会を行いました。御伝授いただきましたのは大原實光院御住職の山田俊和師、御講義を頂いたのは第一部實相寺御住職の齊川文泰師です。参加者は全部で三十六名、伝授後は講師より約五時間の解説と講義を頂きました。伝法を受けるだけではなく解説や講義があることで、より唄を知る事ができました。兵庫仏青としてできることを考え今後も活動を続けていきたいと思います。

信越仏青

創立四十周年記念事業

本多　秀道

天台宗信越仏教青年会では本年度創立四十周年を迎え、『継続～今、自分が出来る事』をテーマに掲げ、平成二十二年九月七日に記念事業を開催致しました。

午前中の記念法要では「光明供九條錫杖」を執り行い、御遷化された教区内諸大徳様方の御回向をさせていただきました。

この「光明供九條錫杖」を執り行うにあたり、叡山学院教授で兵庫教区實相寺御住職の齊川文泰先生に御願いを致しまして「九条錫杖」はじめ「列讃」「着讃」等を御教授いただきました。

午後の記念講演では、東京大学名誉教授・鎌倉女子大学教授の竹内整一先生を御招きして、『「花びらは散る、花は散らない」論―日本人はなぜ「さようなら」と別れるのか』という演題で御講演をいただきました。

御講演では「さようなら」とは「さよう、であるならば」「そうならなければならないなら」であり、「花びらは散っても花は散らない。形は滅びても人は死なぬ。」といった事などをお話下さいました。

夕方よりの記念式典では御臨席を賜った歴代会長様よりそれぞれ御一言ずつ頂戴し、当時の仏青の動向や当時の思い出などを拝聴致しました。創立されてから今日までその時代時代において様々な御苦労を乗り越えてこられ、又創立前後から常に教区内の諸大徳様方の多大なる御力添えをいただいた上に現在の天台宗信越仏教青年会があるという事を改めて認識致しました。

又此の度の記念事業に際し、天台仏教青年連盟より寺門俊明代表・高倉聖法副代表・山田清隆副代表の三名様の御臨席を賜りましたこと厚く御礼申し上げます。

北海道仏青

発足から4年半をふり返って

藤原　智弘

北海道天台仏教青年会は平成十八年九月五日に発足して以来、早いもので四年半の歳月が過ぎ、連盟に正式加盟して四年になります。現在の会員数は八名です。

さて、この四年半を振り返りますと天台宗開宗千二百年慶讃に併せ、青年会を発足させようと発起し、準備期間が短く、皆様には何かとご迷惑をかけながらも新しい灯を点す事が出来ました。その折には仏教青年連盟を中心に全国の各仏教青年会より大勢の方々に集結して頂き、盛大な発足式典を開催出来ましたこと誠に有難く、改めまして心より御礼申し上げます。翌日には法燈奉安法要、街頭托鉢を無事に厳修することができ、大変感激した事がつい先日のように感じられます。発足一周年の際には、天台佛青福島の筧広大会長様、前会長で在られた故高宮俊行様に「一周年のお祝いをしよう」と、温かい声をかけて頂き、福島・陸奥・山形の東北三仏青様の応援により、大変意義ある記念法要になりました。以来、東北三仏青の総会には毎回参加させて頂いております。

北海道は皆様も周知のとおり広大な土地のため一同が集まるにも一苦労です。あらゆる交通手段をもってしても大変不便で会議が札幌の時は地元以外、片道三時間以上の道のりであります。又、函館の時は遠方の会員に至っては車で十三時間かかります。他教区の皆様においては近隣の教区へ行くよりも遠い道のりかと思います。他教区のように毎月集まって研鑽するような活動は容易でなく、年数回というのが現状です。私達はこのような悩みを抱えおり、今後の活動と護持に不安を感じますが東北三仏青様をはじめ、全国の仏青様と連携を図りながら、会員一同頑張っていきたいと思いますので、ご指導ご協力を賜りますよう何卒よろしくお願い申しあげます。

天台宗災害補償制度
保通員代表　加納亨一
保　通　員　大島貴男
〃　高橋　努
〃　秋山隆司
〃　田原彦治
〃　草野秀樹

総本山御開建
安田念珠店
本店・京都市中京区寺町六角角
TEL(075)221-3735(代表)
FAX(075)221-3730
京都駅 ザ・キューブ店
京都駅前地下街ポルタ店
http://www.yasuda-nenju.com/

手のひらから伝わる
素敵なぬくもり

光工房
各種仏具販売・修復・セラミック
（お気軽にご相談ください）
〒370-0850　群馬県高崎市上中居町370-5
TEL&FAX 027-388-1098

天台仏教青年連盟 創立40周年記念中央結集

平成二十二年十一月十五日㈪～十六日㈫

◆大会テーマ

「青年僧として 仏教教化を考える」

あいさつ

実行委員長　一番ヶ瀬順海

去る平成二十二年十一月十五日・十六日の二日間にわたりまして天台仏青連盟四十周年の佳節を記念する結集全国大会が比叡山延暦寺に於きまして開催されました。

実行委員会は前日より登叡して準備を行っていましたが、記念事業として参加者による大講堂並びに戒壇院の修景工事という屋外での作業を予定しているなかに雨の予報を聞き大変気をもんでいました。しかし、当日受付時間がせまる十二時頃にはその雨もあがり、開会式・記念講演に続いての過密スケジュールにも関わらず参加者全員が力を合わせて無事終了することができました。紅葉も見ごろを迎える時期にあって気温は10度を下回る寒空の中でしたが、砂利を土嚢袋にスコップで掻き込み、皆が列になってそれらを手渡しするという大変な重労働をこなして、全員が一様に額に汗をにじませていました。特にその中心となって作業を行って頂いた本山仏青の皆様は、この日を迎えるまでに数ヶ月前から人念な準備を施し、二百名近い参加者がより円滑な作業を進める事ができるよう計画して頂きました。作業を終え真新しい砂利が綺麗に敷き詰められた境内を眺める皆の面持ちは一つの達成感がありました。

実行委員会と致しても、連盟創立四十周年の節目の年に本山延暦寺へいかにして報謝の気持ちを残せるか協議を重ねましたが、行院の加行時期を思いおこすような全国の仲間との作業によって、今後御山に来た時にこの記念事業や若き日の初心を思い出すきっかけとなれば大変喜ばしい事ではないかと思います。

結集二日目は早朝から二回目の記念講演・総出仕による記念法要・御来賓を迎えての式典と盛りだくさんの内容でございましたが無事これらの日程を滞りなく進め記念結集の全行程を終える事が出来ました。一重に、開催へ向けての御理解、御協力を賜りました本山関係各位並びに天台宗務を支える方々のお陰であり、合わせて御参加頂きました全国仏青会員の皆様に心より御礼申し上げます。

講師紹介

「宗教者に出来る社会貢献を考える ～ゲートキーパーという役割～」

淑徳大学総合福祉学部実践心理学科教授

小川 恵（さとし）氏

プロフィール

群馬県生まれ、天台宗僧侶、群馬大学医学部卒業、神戸大学医学部精神神経科学教室、湊川病院、兵庫県立光風病院、東京都下青木病院などで精神科医として勤務【精神科医／臨床心理士】

2002年より淑徳大学社会学部心理学科助教授

2003年より淑徳大学附属心理臨床センター相談部主任

2008年より淑徳大学総合福祉学部実践心理学科教授

著書、執筆論文

『心理臨床へのまなざし―経験の意味を支えるコンテクストと理念』日本評論社、2006年

『いやしから救いへ』（共著）新教出版社、2007年

「宗祖大師にお仕えして」

延暦寺一山円竜院住職

宮本 祖豊 師

プロフィール

昭和35年1月17日生まれ

昭和59年9月9日得度（戒師：山田恵諦座主）（師僧：堀澤祖門大僧正）

平成元年4月1日　十二年籠山行入行

平成13年4月1日　十二年籠山行遂業

平成6年4月1日　延暦寺一山円竜院住職拝命

天台仏教青年連盟 創立40周年記念結集に参加して

栃木教区　本橋 亮忠

今回天台仏教青年連盟創立四十周年の節目を迎え、中央結集が本山比叡山延暦寺に於いて〝原点に立ち返る・宗祖伝教大師の開かれた本山にて宗祖の精神を引き継ぐ我々が改めて誓いをたてる場にしたい〟と、―青年僧として仏教教化を考える―をテーマに開催されました。

開講式には、天台宗参務社会部長　村上圓竜様、延暦寺副執行教化部長　水尾寂芳様ご臨席のもと、全国各教区仏青より約二百名が参加致しました。

午後には気温の下がる中、汗をかきながら、記念事業として大講堂・戒壇院周りの玉砂利敷きの作業を会員総出で行いました。

記念講演では第一講に、天台僧侶でもある淑徳大学総合福祉学部実践心理学科教授　小川 恵氏を迎え、「宗教者に出来る社会貢献を考える～ゲートキーパーという役割～」という演題で、第二講に十二年籠山遂業された延暦寺一山円竜院住職　宮本祖豊師より「宗祖大師にお仕えして」という演題でご講演をいただき、現代社会における宗教・寺院離れが問題視されている中で、我々がどういうことをしていかなければならないかを考える絶好の場となりました。

記念法要は会館前より列立し、戒壇院を参拝後、大講堂にて天台仏教青年連盟代表寺門俊明師を導師に盛大に執り行われました。

記念式典には天台宗宗務総長阿純孝様を始め、天台宗参務各部長様方々・延暦寺執行　武覚超様・歴代の天台仏教青年連盟代表の皆様を迎え行われ、目録として大講堂・戒壇院修景工事、記念植樹が贈呈されました。

今回の結集を通し、生活が豊かになった反面、心が貧しくなったのではないかと思われるこの現代において、我々は改めて宗祖の御心を学び実践していく事が使命と実感し、より一層精進していく事を心に強く刻みました。

また最後となりましたが、今回の結集においては、座主猊下様よりお言葉とご染筆を戴くなど、大変多くの方々よりお忙しい中お力を頂戴した上で、ご出席いただいた多くのご来賓の方々と共に開催できた事を心中より感謝申し上げます。

11月15日（月）

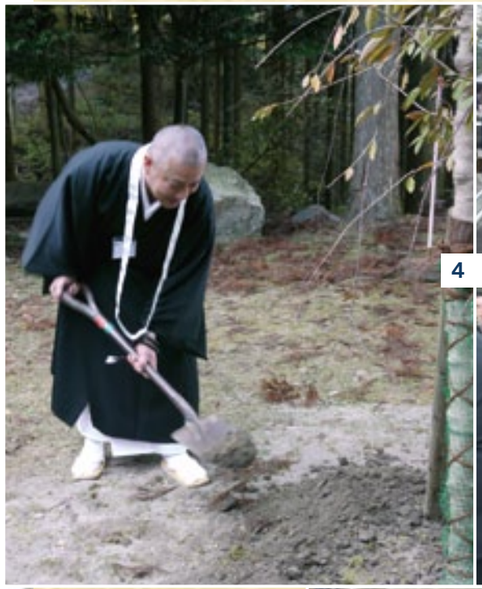
時　間	内　容
11：30～12：30	受　付 着替え　道服へ
12：30～13：00	開講式／比叡の間
13：00～14：15	【講演】 **「宗教者に出来る社会貢献を考える ～ゲートキーパーという役割～」** 講師／淑徳大学総合福祉学部 実践心理学科教授　小川 恵 氏
14：15～14：30	作務衣に着替え
14：30～15：00	作業説明
15：00～17：30	作　業
17：30～19：00	チェックイン、更衣・入浴
19：00～20：00	夕　食
20：00～22：00	記念法要説明・習礼
22：00	就　寝

11月16日（火）

時　間	内　容
6：00	集　合／根本中堂
6：15～7：45	朝勤行 【講演】**「宗祖大師にお仕えして」** 講師／円竜院住職　宮本祖豊 師
8：00～9：00	朝　食 各部屋で衣体に着替え後 チェックアウト、荷物移動
9：00～10：00	整列入堂／戒壇院から大講堂へ
10：00～11：00	創立40周年記念法要／大講堂
11：00～12：00	記念撮影・移動
12：00～12：30	道服に着替え
12：30～14：30	記念式典／比叡の間
14：30	散　会

2　1

1. 先ずは寺門代表の挨拶から
2. 小川先生による講演会



4　3

3. 戒壇院と大講堂に別れての修景作業
4. 代表による記念植樹

創立四十周年記念 中央結集

―青年僧として仏教教化を考える―

6　5

5. 夜は習礼
6. 朝は根本中堂にて朝勤行
7. そして宮本師より講演

7

9　8

10
11

8. 戒壇院をお参り
9. 大講堂にての記念法要
10. 各教区より代表が出仕
11. 導師は寺門代表
12. そしてレセプション

12

平城遷都1300年祭　平和への讃歌 ピースメッセージ

〈平成二十二年五月九日(日)　奈良平城宮跡地にて〉

先ずは腹ごしらえ

総勢250名です

横断歩道を渡ります

そして朱雀門へ

記念法要にて散華

平成二十二年五月九日(日)、奈良県の平城宮跡地にて、平和を願うイベント「平和への讃歌、ピースメッセージ」が開催された。当天台仏教青年連盟も所属する全日本仏教青年会、奈良県神道青年会、南都聖和会、奈良密教青年会、南都二六会などから総勢二百五十名もの宗教者が参加し、約千五百人もの天平行列の後に続き朱雀門から第一次大極殿まで行道、その後第一次大極殿前にて記念式典が行われ、宗教者による法要、幼稚園児による平和宣言、書道家によるパフォーマンス、山本潤子さんのコンサートなど様々な催しが開催され、最後に1300メートルにもなる縷(る)が披露され、テーマソング「ムジカ」を歌い締めくくられた。

途中待ちぼうけ

電車が通過します

朱雀門を抜けて

参加者全員で「ムジカ」を熱唱

書道パフォーマンス

大極殿はまだまだ先です

地域に広がるタルイ会館ネットワーク
私たちは皆様の立場にたって「心」に残るお葬式を執り行っています
タルイ会館舞子　タルイ会館林崎
タルイ会館大蔵谷　タルイ会館大久保
タルイ会館新明　タルイ会館魚住
タルイ会館土山
タルイ会館東加古川
株式会社タルイ
0120-365-365
http://www.tarui365.co.jp

空風火水地
品質第一をテーマに、自然と調和を大切にした製品作りに励んでまいります。
塔婆製造販売
㈱協和木工所

最高の京仏壇
三法堂

第三十三回　東日本仏青親睦野球大会

東京仏青幹事長　末廣　正栄

第三十三回東日本仏青親睦野球東京大会は、平成二十二年五月二十六日・二十七日の日程で開催され、各教区仏青より二百名を超える参加をいただき、無事円成することが出来ました。ご参加いただきました皆様には改めて御礼申し上げます。

大会一日目は、グランドプリンスホテル高輪を会場に代表者会議と懇親会が行われました。

代表者会議においては、各仏青が十年毎に担当する旨が確認され、次回以降の大会開催教区が決定されました。

また、懇親会内で行われた抽選会では、事前抽選で決まった順番に従い対戦ブロックを各々自由に選択する方式をとりました。各チームの思惑が交錯し大変盛り上がった抽選会となりました。

大会二日目。好天の下、大井ふ頭中央海浜公園野球場にて熱戦が繰り広げられました…と書きたいところですが、前夜の雨のため、十年前の東京大会に続き残念ながらボウリング大会となってしまいました。

しかしながら、品川プリンスホテルボウリングセンターをワンフロア貸切という大勢の参加をいただき、結果は二ゲームのアベレージ制で栃木仏青が見事優勝。大変盛会のうちに全日程を終了させていただきました。

尚、今回の東京大会に際して「各仏青での活動」「各寺院での活動」等についての実態・意識調査アンケートや、宮崎県口蹄疫問題義捐金の募集を行いました。詳細は各仏青宛に配布させていただきました東京仏青会報に掲載しております。今後の各仏青活動の一助となれば幸いです。ご協力ありがとうございました。

第四十五回　天台青少年比叡山の集い

実行委員会　井藤　圭順

天台青少年比叡山の集いは、本年で四十五回目を迎えました。今年は、二百二名（小学六年生三十八名）の参加で八月三日～五日にかけて開催されました。

この集いは、小学六年生から中学三年生まで、全国から毎年二百名ほどの研修生が集まり、二泊三日の期間、延暦寺会館に宿泊して行われる研修です。

研修生の指導や研修の準備にあたるリーダーは、仏青会員を中心として男女七十名近くにもなります。

八月三日の朝、比叡山に集合した研修生は一様に緊張した面持ちをしています。結団式の後に行われた発心会では、森川探題大僧正から、研修生全員がおかみそりを頂きました。

二日目の朝には坐禅止観に勤行、清掃などを行います。代表の研修生は、分灯された不滅の法灯に自ら注油するという体験をしました。

朝食後、研修生は三塔巡拝に出発しました。次第に緊張が解けてきた研修生達は、元気に山を歩いていました。

また、午後には平和の祈りの集いに参加し、平和の大切さについて考える時間となりました。

この研修で最も盛り上がるのが、二日目の夜に行われるキャンプファイアーです。各班がスタンツを行い、バンドや花火、リーダーの出し物も多いに盛り上がりました。

たった二泊三日の期間ですが、修了式では、リーダーや新しくできた全国の友達との別れを惜しんで、涙する研修生も多く見られました。研修生にとってもリーダーにとっても実りの多い研修となりました。

このような有意義な研修にも関わらず、毎年リーダーの募集に苦労しています。特に女子リーダーを確保するのが難しい状況です。仏青諸師の皆さまに是非ともご協力頂き、リーダーと研修生をご紹介頂きたく存じます。

寺院用品販売
大和商会
代表　宮崎忠昭
〒340-0005
埼玉県草加市中根1-12-15
電話 048-931-7354(FAX兼)

御本山御用達
京表具
洸悦庵
古文化財保存修理研究所　矢口洸悦庵
本社・工房
京都市上京区衣棚通り丸太町上る東側
TEL(075)254-6021　FAX 254-6022
http://www.koetsuan.com

沈香　白檀　各種焼香　本舗
法要・行事等　記念品「香」受け賜ります
総本山　延暦寺御用達
風間薫芳堂
〒607-8454
京都市山科区厨子奥苗代元町21-8
電話 075-591-0121　FAX 075-581-5760

●インフォメーション

第34回 東日本仏青親睦野球大会 信越大会のお知らせ

【大会日程】
平成23年10月19日(水)～20日(木・友引)〈1泊2日〉

【大会会場】
犀川第2運動場(長野市青木島乙954-2)
＊雨天時運動会場
長野運動公園総合体育館
(長野市吉田5-1-19)

【懇親会会場・宿泊ホテル】
ホテル国際21(長野市県町576)

【問い合わせ】
信越仏青事務局

平成23年度 九州結集のご案内

平成23年6月29日・30日　福岡市

来る平成23年6月29～30日、福岡の地にて〈わが志を述べよ〉～九州から再び～をテーマに『九州結集』を開催する運びとなりました。

平成20年、太宰府教育委員会の宝満山における遺跡発掘調査によって安西筑前宝塔跡が発見されました。天台宗では開宗1200年慶讃大法要の記念事業の一環と宗祖伝教大師顕彰の意味も含めて宝塔を平成21年11月16日に宝満山に建立し除幕法要を厳修しています。

今回、『九州結集』を開催するに当たり、この宝塔に天台宗の根本経典である《法華経》を全国の仏青会員のご協力のもと写経し、これを奉納させて頂くことで改めて宗祖伝教大師の思いと私達青年僧の志を一つに国家安泰・仏法興隆の祈念の象徴に致したいと考えております。

宗祖伝教大師の足跡残るこの九州に多くの方がお越し下さいます様、ご案内申し上げます。

〈九州西仏青結集事務局長　高木 亮順〉

平成22年度 救援募金のご報告

●チリ地震	合計 254,060円
●中国青海省大地震	合計 251,802円
●宮崎県口蹄疫被害	合計 88,971円
●山口県大雨災害	合計 312,190円
●広島県大雨災害	合計 100,000円
●インドラダック地方洪水災害	合計 30,000円
●パキスタン洪水災害	合計 110,000円
●奄美地方大雨災害	合計 140,000円
●連盟地球救援募金	合計 500,464円

ご協力いただきました各仏青様に
感謝いたします。
今後ともご協力の程お願い申し上げます。

※上記の支援金・募金は平成23年2月5日現在です。

天台仏青連盟新ホームページのお知らせ

http://www.t-y-b-a.com/

パソコン委員会では、平成22年度より天台仏青連盟のHPを新しく作成し、現在移転作業中です。主要部分は出来上がっていますので来訪下さい。

素材集やQ＆Aも徐々に移行予定です。仏青会員皆様のHPです。各教区での仏青の活動報告を、大きな行事にこだわる事なく気軽にご投稿ください。

〈パソコン委員会〉

製裟・お衣・仏具・記念品
クリーニングの専門「すずき」
ご注文・お問合せは、下記までお気軽に!
Tel0120―55―0369
Fax0120―447―560
株式会社鈴木法衣店
〒110-0015　東京都台東区東上野6-8-8

各宗本山御用達
各宗珠数製造販売
お珠数専門の老舗
小野珠数店
〒604-8015 京都市中京区寺町通蛸薬師下ル
電話 〇七五(二二一)二六〇八
FAX 〇七五(二五六)二二八八

仏像の彫刻と修復
無料お見積り致します
みやこ仏像
埼玉県新座市野火止6-8-3-417
TEL048-481-7133

協賛金協力者ご芳名（敬称略）

天台仏教青年連盟

皆様の絶大なる御支援に心より御礼申し上げます。

天台宗務庁

天台宗宗務総長　阿 純孝
総務部長　杜多 道雄
法人部長　山田 亮清
財務部長　阿部 昌宏
教学部長　齋藤 圓眞
社会部長　村上 圓竜
一隅を照らす運動総本部長　福惠 善高

宗議会議員（寺籍簿順）

京都教区 方廣寺　木ノ下 寂俊
近畿教区 本山寺　百濟 寂仁
岡山教区 明王院　吉山 亮公
四国教区 行泉寺　柞原 俊孝
九州西教区 長壽寺　角本 尚雄
東海教区 甲山寺　可児 光永
北陸教区 薬王寺　青木 大瑩
信越教区 光前寺　吉澤 道人
神奈川教区 等覺院　中島 有淳
東京教区 福聚院　北岡 守興
東京教区 大圓寺　寺本 亮洞
北総教区 善光寺　弘海 高正
埼玉教区 泉福寺　清水 英雄
群馬教区 光巖寺　田中 祥順
群馬教区 妙見寺　小川 晃豊
茨城教区 如意輪寺　舩戸 俊宏
栃木教区 圓林寺　柳澤 最伸
栃木教区 光樹院　柴田 立史
福島教区 金礼寺　林 光俊
陸奥教区 觀音寺　鮎貝 宗城
修験道法流 慈照院　栢木 寛照

教区宗務所長（寺籍簿順）

滋賀教区 長壽寺　長山 慈信
京都教区 穴太寺　穴穂 行弘
近畿教区 松尾寺　高岡 保博
兵庫教区 彌勒寺　草別 碩善
岡山教区 千光寺　葉上 観行
山陰教区 大日寺　見上 知正
九州西教区 大善寺　甘井 亮淳
三岐教区 常住寺　森 喜良
東海教区 成願寺　中村 廣文
北陸教区 帆山寺　天谷 良永

教区	寺院	氏名
信越教区	善昌寺	大澤祐仁
神奈川教区	妙樂寺	溝江光運
東京教区	成就寺	板倉慈慎
北総教区	長樂寺	中里康道
南総教区	妙音寺	浅野玄航
埼玉教区	高藏寺	吉田亮照
群馬教区	華藏寺	藤井祐順
茨城教区	如意輪寺	寺門俊文
栃木教区	月藏寺	齋藤宏明
福島教区	日光寺	渡邉亮海
陸奥教区	大長壽院	菅原光中
安楽律法流貫首	興雲院	中川光熹

宗内御寺院・団体（寺籍簿順）
5口以上ご協賛の方

教区	寺院	氏名
総本山	本行院	渡部光臣
滋賀教区	金剛輪寺	濱中光礼
兵庫教区	法泉院	西川慶円
岡山教区	長安寺	森定慈誠
山陰教区	妙玄寺	渡辺禅栄
九州東教区	臨済寺	秦 順照
九州西教区	二階寺	吉田竜晃
東海教区	龍泉寺	佐藤正延
神奈川教区	龍臺寺	樋口智亮
神奈川教区	天王院	生方常明
神奈川教区	圓満寺	西郊良光
神奈川教区	龍門寺	永井良祐
東京教区	正観寺	晝間玄明
東京教区	津梁院	長澤徳栄
東京教区	養壽院	赤沼廣海
東京教区	天王寺	末廣照純
東京教区	寶泉寺	大塚亮英
東京教区	観音寺	本多賢眞
東京教区	圓融寺	阿 純章
東京教区	養玉院	遠賀庸達
北総教区	圓勝寺	湯浅法最
南総教区	笠森寺	小川長宏
南総教区	妙樂寺	須賀田覺信
埼玉教区	延命寺	河野亮仙
埼玉教区	勝福寺	髙栖恵浩
埼玉教区	福正寺	木本清玄
群馬教区	常圓寺	綾小路乗俊
群馬教区	常住寺	薗 實丞
茨城教区	藥王院	竹林史典

教区	寺院	氏名
茨城教区	清瀧寺	雪草洋幸
茨城教区	萬福寺	熊岡明然
茨城教区	佛性寺	山田純永
栃木教区	東明寺	三上亮順
福島教区	観音寺	川﨑英観
陸奥教区	満福寺	千葉亮賢

天台京都青年会

茨城天台仏教青年会

栃木県天台仏教青年会

天台仏教青年会福島

教区	番号	寺院
岡山教区	86	妙音院
信越教区	95	観音寺
南総教区	210	天徳院
栃木教区	16	日増院
栃木教区	18	観音寺
栃木教区	49	感應寺
福島教区	115	仁王寺

天台仏教青年連盟

役職	氏名
代表	寺門俊明
副代表	高倉聖法
副代表	山田清隆
事務局長	溝江光宣
事務局次長・渉外	井藤圭順
事務局次長・庶務	藤井祐幹
事務局次長・法務	松村宗宣
事務局次長・会計	井上光映
会計監査	本郷泉観
会計監査	竹林幸祥

布教広報委員

役職	氏名
委員長	本橋亮智
副委員長	筧 広大
	久保寺福美
	白﨑良演
	青柳興裕
	常葉法雄
	本郷泉観
	松村宗宣

誤記等がございましたらご容赦くださいます様御願い申し上げます。
平成23年1月末日現在にてご協賛いただきました方を掲載させて頂きました。

天台宗専門法衣司
山科大西法衣店
〒607-8357
京都市山科区西野櫃川町545-21
電話(075)591-9159
FAX(075)502-5418
0120-568-024

仏教書林
芝金聲堂
〒604-0932

天台宗務庁御特命
三諦章袈裟専織所
森忠法衣店
五代目 森 忠兵衛
〒604-0842 京都市中京区押小路通烏丸東入
電話 075-231-1203番
FAX 075-255-7020番

華頂庵
寺院荘厳具・京仏壇・京仏具・法衣・装束・打敷
株式会社 安藤
0120-29-8161
0120-29-8165
0120-19-8168
0120-3232-09
0120-2143-22

中末法衣店
〒606-8287
京都市左京区北白川上池田町12-1
TEL 075-723-8865
FAX 075-723-8867

井筒法衣店
代表取締役社長 筏田 潤
〒600-8503
京都市下京区堀川通新花屋町角(西本願寺前)
電話 075-365-0001(代) FAX 075-353-7021
東京店／東京都新宿区三栄町11-6
電話 03-3358-1500(代表)

平成二十二年度 常任委員会 委員長報告

結集研修委員会

委員長（九州西）　一番ヶ瀬順海

— 担 当 —
本山・九州西・信越
神奈川・東京・南総・陸奥

昨年四月に編成されました今期の結集研修委員会は、この度の連盟創立四十周年記念中央結集の開催へ向けて連盟執行部と実行委員会を設立し会議を重ねてまいりましたが、平成二十二年十一月関係各位の絶大なるご支援により魔事なくこれを円成する事ができました。心より御礼申し上げますとともに全国各地より多くのご参加を頂きました各教区仏青の皆様のご協力に深く感謝する次第でございます。

来年度の全国結集は六月二九日・三十日に九州西教区仏青の担当で開催されます。またその次年度になります平成二十四年は陸奥教区仏青による開催も決定されております。今後、結集研修委員会では各担当教区の方々と協議を進めながら地方開催の結集をいかに盛り上げていく事ができるかを考えたいと思います。

救援委員会

委員長（東海）　安藤雅仁

— 担 当 —
京都・近畿・兵庫・九州東
東海・埼玉・北海道

各教区仏青会員様には、日頃から積極的に募金活動並びに支援活動への御尽力お力添えを賜り誠にありがとう御座います。

救援委員会では、昨年より継続支援団体を見直させていただき、今年も引き続き援助活動を進めて参ります。今年度は特に自然災害がとても多く、国内に関しては、山口県大雨災害、広島県大雨災害、奄美地方大雨災害がおこり、海外に於きましては、チリ地震、中国青海省大地震、パキスタン洪水災害、インドラダック地方洪水災害、ハイチ地震等の災害に併せて宮崎県口蹄疫被害と、各仏青の皆様には度々の義援金協力のお願いに快くご協力いただきました事、感謝申し上げます。今年度の自然災害は昨年度よりも格段と増えこれも地球温暖化の影響からくる私たちの住む地球からの救援メッセージなのか、今、多くの災害を通して青年僧として何が出来るのか、今後も救援委員会の中で意見を出し合い方向性を決めて活動していきたいと思います。最後に二年間お力添えいただき心より厚く御礼申し上げます。今後とも皆様方のご理解とご協力をお願い申し上げます。

パソコン委員会

委員長（山陰）　柴山智慶

— 担 当 —
滋賀・岡山・山陰
四国・北総・山形

たとえば宮沢賢治が「雨ニモマケズ」の中で法華経の思想を生かしたような、見聞し、分別し、忘れずに精進するという事。昨年度のパソコン委員会の活動は、仏青連盟のＨＰをあらためて見直す中で、自らの置かれた立場や境遇や世相等、多くの事象を委員各々が確認する機会であったと感じています。先人が積み重ねてきた旧ＨＰから新ＨＰへの移行という作業の中で、膨大な量のＱ＆Ａは、全仏青会員にとって貴重な財産であるといえます。この財産を保存し活用していく為にも、時間のかかる作業ではありますが内容を吟味して抜粋→ＨＰ上に公開という流れを作り、次年度への活動につなげていきます。

〝パソコン委員会〟の名称についても「活動内容がわかり難い」と指摘があります。良い名称を提案しあい、早ければ次年度から新名称での活動へと移行も考えています。

布教広報委員会

委員長（栃木）　本橋亮智

— 担 当 —
三岐・北陸・群馬
茨城・栃木・福島

昨年よりレイアウトデザインを改めた会報誌はいかがでしょうか。本年度は、代表の意向もあり「天台仏青連」のタイトル文字を半田孝淳座主猊下より御染筆を頂戴して掲載させて頂きました。

更に本年度は、天台仏教青年連盟四十周年記念中央結集が行われ、その次第パンフレットを布教広報委員会で作成させて頂き、会報本誌では頁数を十二頁から十六頁に大幅に増やして内容的にも四十周年記念誌を兼ねて作成致しました。

昨年度の特集頁、連盟結集十年の歩みと一緒にご覧頂きますと連盟結集の変遷が伺い知ることができ面白いと思います。

最後にこの二年間皆様のお陰を持ちまして無事に任を全うすることができましたことをあらためて感謝申し上げるとともに更なる天台仏教青年連盟の発展をご祈念致します。

～編集後記～

前号よりレイアウトも新しく刷新されました会報ですが、今号は「天台仏青連」の題字も新しく座主猊下の御染筆を頂き、頁数も経済的な十六頁に増頁する事に致しました。

今回は四十周年記念の中央結集が開催されましたので特集頁で多くの記事を掲載させて頂きましたが、今後は頁数も増えた事ですので全国の仏青団体の活動などをもっと掲載され、本誌がその報告の場となれば幸いです。

早いもので本橋委員長の下、新しい広報委員となって二年間、会報を編集させて頂きましたが、まだまだ改善の余地はあると思います。今後は春からの新しい広報委員の方々にお任せし、もっともっと良い物を作りあげていって頂きたいと存じます。

現編集委員もやっと作業に慣れてきたところであり、誠に残念ではありますが、今号をもってその任を解かせて頂きます。誠にありがとうございました。

布教広報委員一同